



福山西ロータリークラブ 例会情報



(2020~2021年度)

[第1413回例会]-(04)

会長 佐藤 教夫 幹事 瀬尾 義裕

クラブ会長テーマ

「ひろげよう、ロータリーの輪を」

日 時 2020年7月28日(火)
12:30~13:10
場 所 福山ニューキャッスルホテル
例会行事 点鐘・ソング「おお マイフレンド」
「四つのテスト」唱和
ゲスト・ビジターの紹介(出席報告参照)
食事

例会情報 [会 長 報 告](#)
[幹 事 報 告](#)
[出 席 報 告](#)
[S A A 報 告](#)
[ス マ イ ル 報 告](#)
[プ ロ グ ラ ム 情 報](#)
・クラブフォーラム(SAA・会計)
[そ の 他 報 告](#)

その他情報 [メークアップ情報\(来週分\)](#)
[メークアップ情報\(再来週分\)](#)
[今 後 の 行 事 予 定](#)
[ク ラ ブ 活 動 報 告](#)

*Ctrlキーを押しながらクリックするとそのページが表示されます。

【 会 長 挨拶 】

ロータリークラブの細則を見ますと、他の委員長、役員については、規定はありませんが、会長だけは任期1年となっています。

後任が決まらない場合は1年まで延長できる。と規定されています。

これは、任期を1年にして、より多くの会員に経験してもらおうという趣旨ではないかと、勝手に解釈しているのですがいかがでしょうか。

この事で思い出しますが、以前読んだ本に、オーストラリア原住民のアボリジニの話がありました。採取と狩猟で食料を確保していたようで、部族全体で移動、放浪しながら生活していたようです。リーダーとなる人を順番に決めて、どちらへ行くのか、どう動くのかそのリーダーに従っておりました。皆がリーダーになる事によって、リーダーの責任や苦しみがわかる。という事が書いてありました。

アボリジニはテレパシーで会話ができたとの事です。獲物などを見つけると、離れていても、仲間に連絡できたという事です。

ちなみに、その後、オーストラリア政府から手厚い生活保護を受けて、そのような能力も無くなり、今は、アル中患者も増え、禁酒政策も取られる様になってしまったようです。

ロータリーの1年の任期というのはちょうど良い期間ではないかと思えます。

1年位ならそれ程負担にはなりませんし、「まあ、やってみようか」という気にもなります。本年度の例会は40回有りますが、今日で4回目ですから、あと36回です。

これからも、楽しんでやってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

[表紙へ](#)

【 幹 事 報 告 】

No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・2020-21 年度米山奨学生研修旅行の日程について
2	
3	
4	

[表紙へ](#)

【 プ ロ グ ラ ム 情 報 】

【クラブフォーラム（SAA・会計）】

《SAA 平田 恭彬》

創立 30 周年の節目を経た福山西ロータリークラブの SAA という大任を仰せつかりました。副 SAA の梶原啓子会員と共に精一杯務めさせていただきます。

SAA の活動方針

- ◎ 会長方針の下、品位ある例会に努め、楽しく意義深い例会となるよう各委員会と連携を密にして進行してまいります。

（例会中は携帯電話をマナーモードにし、私語は出来るだけ慎む）

活動目標

- ① ゲスト、ビジターの方々に気持ちよく例会に出席してもらえるよう、特に親睦委員会と協力し、スムーズに受付・テーブルへのご案内ができるように致します。
- ② ビジターの方々には、お知り合いの会員が居るか等お尋ねし、同席を望まればテーブルまでご案内致します。
- ③ スマイルにつて
一般スマイル・会社・家族の慶事など、会員全員で喜びを共有できるようなスマイルの紹介で楽しい例会にします。
スマイルをしてもらい易いように努め、クラブ会計にも貢献してまいります。
- ④ 会員の席がなるべく固定化しないよう、毎月 1 回程度のくじ引きで座席を決めて会員同士の融和を図ってまいります。
（毎月第 2 例会日に、くじ引きで座席決めをさせていただきたいと思っておりますが、休会日や例会変更となる日もありますので該当的に行いたいと思います。）
- ⑤ クールビズについて
5/1～10 月末の間、清楚な服装で例会出席をしていただく。
- ⑥ その他
司会進行役をしていただく会員の方に、例会前のご案内として、
「まもなく例会開始時間です。（1， 2分前に）携帯電話をマナーモードにしてください、ご着席下さい。」と言うようなアナウンスをお願いしたいと思います。
（秩序を保ち品位ある例会にするために）

《会計 古井 正則》

I) 福山西 RC における会計上の3部門に係る傾向と対策

(1) 「一般会計」部門

⇒財源：クラブ会費の他、クラブ協力金・ビジターフィー・西友会事務委託料等

⇒支出：事務関連費用・例会関連費用・クラブ活動費用

：SAA 及び「クラブ管理運営委員会」に所属する各委員会等に係る費用

(会員増強・ロータリー情報・親睦・広報・例会・長期ビジョン検討の各委員会)

⇒2020-21 年度予算は、170 万円強の部門赤字見込。

∴ 収入：対前年度 △約 130 万円。うち、会費 90 万円減 ←会員減少等。

支出：対前年度 +約 50 万円。← ほぼ想定「会合費」の差。

⇒問題点：ここ数年に渡って構造的に赤字。

→最大の原因は会員数の減少 (cf.財源の大半はクラブ会費に拠る)

→克服するための方法は、会計的には主に以下の5つしかない。

- ① 会費値上げ
- ② 委員会行事の見直し (参考：対前年度 △7 万円、対一昨年度 △72 万円)
- ③ 例会補助費が不要/低額となる例会変更を増やす (地区大会・資源回収等)
- ④ 休会を増やす (∴例会関連費が減る)
- ⑤ 会員数を増やす

(2) 「分担金」部門

⇒各種分担金等をお預かりし、地区/RI 等へ拠出するための会計部門。

⇒すべての項目がいわゆる「通抜け勘定」となるため、原理的に収支均衡。

⇒問題点 (?)

：いくつかの項目の金額が、年を追うごとにじわじわ増えている。

(3) 「スマイル会計」部門

⇒財源：スマイル・各種チャリティの益金 等

：「国際奉仕事業積立金取崩」は、昨年度中に処理済みのため、要修正。

⇒支出：「奉仕プロジェクト委員会」に所属する各委員会等に係る費用

(職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕・R 財団/米山・青少年奉仕の各委員会)

⇒「各種奉仕活動は、スマイル及びチャリティ益金で賄う」ということ。

：「スマイル及びチャリティ益金は、原則各種奉仕活動に使用する」ことと同じ。

⇒2020-21 年度予算は、約 180 万円弱の部門黒字見込 (当初)。

：委員会予算は大幅減。(対前年度 △50 万円、対一昨年度 △85 万円弱)。

⇒今年度のスマイル等の想定は、例年に比べかなり強気な設定 (ほぼ上限と考えるべき)。

(4) クラブ会計全体としての単年度予算収支について

⇒「一般会計」部門でマイナス、「スマイル会計」部門でプラス、

トータルでは約 20 万円弱のマイナスの見込み。(国際奉仕積立金修正後)

⇒今年度の各員会費用は、総額で例年より約 75 万円程度縮小。

⇒現状では、「周年行事積立金」を拠出する余裕がない。

⇒「一般会計部門」での短期間での劇的な改善はやや期待薄であることを考えれば、今年度のクラブ収支はチャリティ益金、そしてスマイルの如何に大きく依存しているというのが実情で、近年この構造的傾向に変化はない。
⇒積極的なスマイルと、会員増強が強く望まれる。

Ⅱ) 会計上の中長期的な展望について

- ・「期末正味財産」はここ数年ほぼ横這い。
- ・2014-15年度（創立25周年記念行事開催年度）以降の増減額は、5年間で95万円弱。
- ・昨年度のコロナ禍の影響がなかった場合を想定すれば、増減額は5年間でほぼゼロ。
（∵30周年記念行事関連の取崩が75万円程度増加し、例会の通常開催により一般会計における費用額が嵩むこと等による）
- ・30周年記念事業における繰越財産の取崩見込額（予算額）は約260万円。
（総予算420万円、取崩額260万円（予算）は周年積立金の取崩と、一般会計・スマイル会計の繰越額からの取崩の合計額）。
- ・第26期（2014-15年度）から第30期（2019-20年度）
⇒当該5年間の収支（≒正味財産の増減）は実質的に概ね均衡（プラスマイナスゼロ）。
⇒収支規模（≒年間予算）はほぼ横這いしないし微減。
- ・第31期（2020-21年度：今年度）以降の展望
⇒前期からの会員6名減は、イコール一般会計予算△120万円/年。
⇒今年度は近年で最小規模の活動予算を予定、かつ、かなり強気のスマイルを前提に、予算通りの収支となったとしても、約30万円弱の赤字（繰越金の取崩）が見込まれる。
⇒今後5年間の各年における正味財産（≒周年基金）の積上げはかなりの困難が予想される。
⇒来年度以降、各年30万円程度の赤字を想定し、35周年記念事業における繰越金の取崩額を30周年と同程度（約260万円）と仮定すれば、35周年の年度末の正味繰越財産は、昨年度末からほぼ4割の減少となる可能性がある。
⇒仮に、来年度以降の各年、過去五年間の平均と同程度のクラブ予算組むとことを前提とすれば、各年約100万円程度の繰越金の取崩が必要となり、また、35周年記念事業における繰越金の取崩額を30周年と同程度（約260万円）と仮定すれば、35周年の年度末の正味繰越財産は、昨年度末からほぼ6割の減少となる可能性がある。

以上

【資料】委員会行事(会計)2020・「福山西 RC ・ 近年の CF 推移まとめ」

I 期末時点正味財産の推移

時 点	期末正味財産	対前年度増減 額	摘 要
2014-15 年度末 :	9,496,864 円	—	創立 25 周年記念事業
2015-16 年度末 :	10,793,172 円	1,296,308 円	
2016-17 年度末 :	10,720,157 円	-73,015 円	
2017-18 年度末 :	11,172,906 円	452,749 円	周年基金の受取利息 92 円込
2018-19 年度末 :	11,491,359 円	318,453 円	周年基金の受取利息 7 円込
2019-20 年度末 :	10,443,990 円	-1,047,369 円	創立 30 周年記念事業
			未払費用 70 万円(予算額)を想定
			30 年式典等開催ならさらに△75 万円強
5 年増減額		947,126 円	30 年式典等開催なら概ね 200,000 円
単年度平均		189,425 円	30 年式典等開催なら概ね @ 40,000 円

II 単年度(実質)CF の推移 (※ 分担金・周年事業関連費用を除く)

時 点	金 額	摘 要
2014-15 年度		創立 25 周年記念事業
一般会計 :	-112,763 円	
スマイル会計 :	1,666,967 円	スマイル : 1,263,832 円、チャリティ : 1,158,492 円
単年度収支 :	1,554,204 円	
25 周年収支 :	-3,983,031 円	
正味財産収支 :	-2,428,827 円	
2015-16 年度		期首会員数:45 名
一般会計 :	133,314 円	
スマイル会計 :	1,162,994 円	スマイル : 1,213,240 円、チャリティ : 1,087,356 円
単年度収支 :	1,296,308 円	※ 周年積立なし。
2016-17 年度		期首会員数:45 名
一般会計 :	-1,112,044 円	
スマイル会計 :	1,039,029 円	スマイル : 1,381,570 円、チャリティ : 958,330 円
単年度収支 :	-73,015 円	※ 周年積立 50 万円。
2017-18 年度		期首会員数:41 名(△4 名)
一般会計 :	-281,541 円	
スマイル会計 :	734,198 円	スマイル : 826,700 円、チャリティ : 822,524 円
単年度収支 :	452,657 円	※ この集計外で受取利息 92 円、周年積立 50 万円。
2018-19 年度		期首会員数:41 名

一般会計 :	-255,152 円	
スマイル会計 :	573,598 円	スマイル : 1,117,500 円、チャリティ : 412,843 円
単年度収支 :	318,446 円	※ この集計外で受取利息 7 円、周年積立 50 万円。
2019-20 年度		期首会員数: 39 名(△2 名)
一般会計 :	251,418 円	創立 30 周年記念事業
スマイル会計 :	528,586 円	スマイル : 610,292 円、チャリティ : 421,228 円
単年度収支 :	780,004 円	
30 周年収支 :	-1,827,378 円	未払費用(記念誌等) 70 万円を想定
正味財産収支 :	-1,047,374 円	※ この集計外で受取利息 5 円、周年積立 50 万円。
2020-21 年度見込		期首会員数: 33 名(△6 名)
一般会計 :	-1,708,168 円	
スマイル会計 :	1,497,652 円	スマイル : 1,210,000 円、チャリティ : 787,612 円 (ともに想定額)
単年度収支 :	-210,516 円	※周年積立なし(見込)。

Ⅲ 「収支規模(分担金を除く)」の推移

時 点	決算確定額	対前年度増減額	摘 要
2014-15 年度 :	13,176,880 円	—	創立 25 周年記念事業
2015-16 年度末 :	11,771,903 円	-1,404,977 円	
2016-17 年度末 :	11,049,164 円	-722,739 円	
2017-18 年度末 :	10,711,672 円	-337,492 円	
2018-19 年度末 :	10,594,549 円	-117,123 円	
2019-20 年度末 :	11,258,163 円	663,614 円	創立 30 周年記念事業
平均額	11,427,055 円	-383,743 円	
2020-21 年度予算	9,471,803 円	-1,955,252 円	平均額からの乖離

Ⅳ 「クラブ奉管理運営」関連委員会費用の推移

時 点	決算確定額	対前年度増減額	摘 要
2014-15 年度末 :	1,159,625 円	—	創立 25 周年記念事業
2015-16 年度末 :	1,360,579 円	200,954 円	
2016-17 年度末 :	1,483,927 円	123,348 円	
2017-18 年度末 :	1,079,440 円	-404,487 円	
2018-19 年度末 :	1,526,336 円	446,896 円	
2019-20 年度末 :	874,126 円	-652,210 円	創立 30 周年記念事業
平均額	1,247,339 円	-57,100 円	
2020-21 年度予算	958,010 円	-289,329 円	平均額からの乖離

Ⅴ 「奉仕プロジェクト」関連委員会費用の推移

時 点	決算確定額	対前年度増減額	摘 要
2014-15 年度末 :	755,902 円	—	創立 25 周年記念事業
2015-16 年度末 :	1,076,175 円	320,273 円	
2016-17 年度末 :	1,301,039 円	224,864 円	
2017-18 年度末 :	915,173 円	-385,866 円	
2018-19 年度末 :	1,229,940 円	314,767 円	
2019-20 年度末 :	503,020 円	-726,920 円	創立 30 周年記念事業
平均額	963,542 円	-50,576 円	
2020-21 年度予算	500,000 円	-463,542 円	平均額からの乖離

[表紙へ](#)